

第9回「街なか商店塾」

34店が“春の催し”など60講座を開催

下町のお店のプロが教える第9回「街なか商店塾」が2月18日～3月20日に開催されました。期間中は区内商店街の34店が参加して、「春の催し/卒業・入学特集!」講座をはじめ、日常生活に身近なテーマの一般講座、大人向け講座の計60講座を実施しました。今回で9回目の開催実績を積み重ねて、親切・ていねいに教えてくれる講座に対する区民の評価も着実に高まっています。

第9回街なか商店塾講座数	春の催し特集	一般向け	大人向け	計	
21	35	4	60		
テーマ	食べる	3	5	3	11
	学ぶ	1	12	—	13
	作る	16	7	1	24
	健康	1	5	—	6
	きれい	—	6	—	6

～「暮らしに直結し、役に立つ」が定評に!～

■荒川商業高校の生徒がデザインしたポスター

第9回「街なか商店塾」のポスターは、都立荒川商業高等学校(足立区小台)の生徒で構成される模擬株式会社「レガロ工房」のメンバーが制作しました。レガロ工房は、授業で学んだ知識や技術を実践し、地域の活性化に貢献しようとして、平成17年から活動を開始。これまで近隣商店街のキャラクターデザインや個店のポスター制作のほか、商品パッケージづくりなどで異彩を放ち、商業高校の体験・実習教育のモデルとして注目されています。



区役所1階ロビーに展示された、レガロ工房の作品(37点)

今回、「街なか商店塾」の参加店からのリクエストを受けて、ポスターの制作を手掛けたもので、その作品は、「若々しいデザインと明るい色づかいが良い。新鮮なインパクトを与えた」と好評でした。

■“健康志向”の創作レシピを伝授

ジョイフル三の輪のコーヒーハウスあめみや(南千住1)では、店主の雨宮敏夫氏が子供たちの健康を気遣って創作したレシピ「子どもよろこぶ・簡単・いわしのパスタ」講座を開講しました。いわしパスタの1人前の材料は、缶詰のいわし1匹と、野菜(たまねぎ、なす、ズッキーニ)、細めのスパゲティ100グラム。独自の調理法でつくるトマトソースがうま味の決め手。スパゲティを約6分間ゆでた後、フライパンでんにく・野菜を炒め、いわしを入れて温め、調理したトマトソースを混ぜ、塩・こしょうで味を整えてから、ゆでたスパゲティを加えて出来上がり。調理手順にコツがありますが、受講した主婦は「自宅の食卓メニューに加えたい」とレシピ表を持ち帰っていました。



調理法を説明する店主の雨宮氏(右)

【問合せ】産業振興課 商業振興係 (3802) 4674

7S推進事業「中小事業者向け省エネ講座」を開催

7S活動とは、5S(整理・整頓・清掃・清潔・社員教育(しつけ))に2S(省エネ・サービス)を加えた、荒川区独自のカイゼン活動

省エネ診断を活用して利益を生む!事例を紹介

区が推進する7S活動の一つである省エネ活動として、平成28年度「中小事業者向け省エネ講座」が2月3日、あらかわエコセンターで開催されました。講座では、東京都が中小事業所向けに実施している「省エネ診断」を活用して経費を削減し利益を生むポイントや、国(環境省)が提唱している環境経営システム「エコアクション21(EA21)」の認証取得などについて、講演と事例紹介が行われました。



省エネ活動の成果を発表する石川幸男氏(正面右)

ポイント① エネルギー管理体制の構築

【講演一】では、「省エネ診断で、経費削減&利益アップ!」と題して、クール・ネット東京(東京都地球温暖化防止活動推進センター)技術専門員の村瀬光一氏が詳しく解説しました。その中で、都の「省エネ診断」の実績が平成20～27年度に約3000件に達し、「その約80%の事業者が省エネ効果を実感している」との報告がありました。

変圧器を導入、照明器具のLEDへの切り替えを行い、設備の省エネ化を図る、③デマンド監視装置を導入し、目標の最大電力を超えないよう監視する“エネルギーの見える化”の実現を重点目標にして改善に取り組んでいます。

石川金網株の石川幸男・代表取締役は「省エネ診断で指摘された改善点を継続して実施するとともに、この取り組みを7S活動と一体化して、製品開発、業績向上につなげたい」と話していました。

経営コスト低減につながる成果!

また、省エネ活動の事例として、区内企業の石川金網株(荒川5丁目)の取り組みが紹介されました。同社の年間エネルギー費用は約246万1000円(うち電力85%、上下水道13%、その他2%)、CO2(二酸化炭素)排出量は36トンでしたが、省エネ診断を受けた結果、年間費用は約85万7000円減(約34.8%減)の160万4000円、CO2排出量は年間12.1トン減(同33.6%減)の23.9トンに削減可能との指摘をうけ、それを目標に省エネ活動を推進中です。

中小事業者でも取り組みやすいエコアクション21(EA21)

【講演二】では、エコアクション21審査人の布川憲満氏が「エコアクション21(EA21)の認証登録&取り組むメリット」について説明。EA21は、中小企業者が環境への取り組みを効果的・効率的に実施するための仕組みを規定しているため、「中小事業者でも取り組みやすい環境経営システム」と強調したうえで、平成27年度末の認証登録数7690事業所のうち、62%が従業員30人未満の中小事業者で、それらが「電力使用量の削減や社会的信頼の向上など経営メリットを得ている」などと指摘しました。

【問合せ】経営支援課産業活性化係 TEL(3802)4683

MACC 会員企業 志幸技研工業(株)が関西電力と業務提携

高齢者見守りシステム「ネットミル」の普及に弾み!

区が推進するMACCプロジェクトの会員企業である志幸技研工業(株)(西尾久5丁目)は、電力自由化を背景に顧客サービス向上を図っている関西電力と業務提携して、高齢者家族の安否確認・見守りシステム「ネットミル」の普及に弾みをつけ、話題を呼んでいます。



ネットミルの仕組みを説明する吉川氏

「ネットミル」は、一般家庭の電気使用状況をチェックして生活リズムの変化を“お元気情報”として通知する新技術で、緊急コールボタンをつけることで孤独死や事故の防止にもつながるシステムです。平成26年度に「第2回荒川区新製品・新技術大賞」の優秀賞を受賞し、実証実験を経て、荒川区で採用されたのをはじめ、関東地区で利用者を増やしています。

今年に入って、近畿圏に膨大な顧客をもつ関西電力と業務提携し、関電が提供する「生活リズムお知らせサービス<はぴeまもるくん>」のオプションサービスとして契約受付を開始しました。関電が顧客家庭に設置しているスマートメーター(次世代電力計)とネットミルを連動し、高齢者(親世帯)の電気使用状況を解析した生活リズムを、離れて暮らす家族(子世帯)にお知らせする仕組みで、1月末のサービス開始以降、契約が相次いでいるとのこと。

安否確認のほか、防犯、災害時火災の防止にも有効

志幸技研工業(株)の吉川裕・代表取締役は「ネットミルは、システム自体に通信機能を備えているので、集合住宅や民泊施設、別荘などに取り付けると、電気使用の異常を監視して事故対策、防犯対策にも活用できる。さらに、地震など災害時の通電火災を防ぐサポートシステムにも有効」とし、安全を監視するシステムとして利用分野を広げ、「今後5年間で利用件数5万件」を見込んでいます。

【問合せ】経営支援課産業活性化係 (3802) 4683

漫才の出前講座 銭湯で楽しく学びました!

悪質商法の手口と撃退法

巧妙化する悪質商法の被害にあわないようにと、区内の公衆浴場を会場に、漫才と消費生活相談員によるお話で、語り商法や点検商法などの事例や対処法を楽しく学びました。



梅の湯で行われた出前講座

この出前講座は、2月2日に尾久ゆ〜ランド(東尾久5丁目)で「健康は最大の宝」、3日に梅の湯(西尾久4丁目)で「安心して下さいには要注意!」、6日に日暮里斉藤湯(東日暮里6丁目)で「リフォーム詐欺の匠の企(たくら)み」を演題に行われました。

漫才の演者は、消費者啓発ボランティアグループの「出前寄席OB会」と「ボンジュールクリエイション」。消費者被害の未然防止に役立つ情報が参加者にわかりやすく伝えられ、好評でした。

【問合せ】荒川区消費生活センター TEL(3802)4673

募集! 「就職面接会」の参加企業

荒川区では、ハローワーク足立、足立区との共同で「正社員就職応援面接会」を開催します。

求人予定のある企業を募集しています。

申込み方法や参加要件など、お気軽にお問合せください。

～正社員(業種・職種を問わず)の求人企業～

【日時】5月18日(木)午後1時30分～4時

【会場】ムーブ町屋ムーブホール(荒川7-50-9センターまちや3階)

【募集職種】業種・職種不問【応募締切】4月18日(火)

【申込み・問合せ】ハローワーク足立 事業所第二部門

TEL(3870)8895 FAX(3870)8612

参加無料

家内労働の「委託状況届」を忘れずに!

～4月30日までにご提出ください～

家内労働者への仕事(内職等)を委託している事業主の方は、毎年4月1日現在の家内労働者数などについて、「委託状況届」を労働基準監督署に提出することが義務づけられています。

【問合せ】東京労働局労働基準部賃金課家内労働係 TEL(3512)1614